

協働テーマ

無人資材置場の管理を遠隔で行い、業務効率化につなげたい！

■ 現場課題

課題詳細

- ①無人資材置場の既存センサー発報時の状況確認を遠隔で行うとともに、発報原因究明の負担を軽減したい
- ②災害発生時の状況把握を迅速化したい（建物や資材の被害状況の確認）
- ③窃盗事件発生時にできるだけ業務効率化しつつ早期に対応したい

課題解決による
想定成果・効果

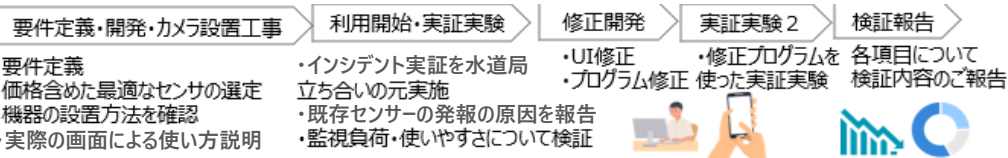
発報原因究明業務の軽減 AIが侵入者を即座に判別する。都庁等からの遠隔確認により、原因特定に要する時間を大幅に削減する。
災害時確認業務の軽減 AIによる一次判断で重要箇所を優先報告するとともに、都庁等からの遠隔確認を可能とする。職員の目視確認負担を最小化し、資材搬出に向けた迅速な意思決定を可能にする。
盗難時確認業務の軽減 盗難検知と状況把握を自動化し、発生時の初動対応および事実確認の業務負担を軽減する。

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

野外エッジカメラと各種AI（侵入者検知・災害時の被害状況検知・盗難行動検知）を活用し業務効率化、災害時業務迅速化、盗難状況把握を行うとともに録画保存を実施

協働
プロジェクト
内容



成果

全KPIで目標を達成し、無人資材置場管理における以下の課題解決効果を確認した。
発報原因究明業務の軽減 AIが侵入者を即座に特定し遠隔確認を可能とすることで、原因究明に要する時間を大幅に削減できることを確認した。
災害時確認業務の軽減 AISクリーニングによる状況把握の迅速化及び遠隔確認により、発災時の初動対応や資材搬出の可否の判断に要する時間を削減できることを確認した。
盗難時確認業務の軽減 盗難検知と状況把握を自動化し、盗難時の迅速な対応や、点在する資材置場の効率的な遠隔確認に活用できることを確認した。

侵入者の検知



発災時の状況スクリーニング



発災時状況確認用カメラ



盗難行動の検知



盗難時状況確認用カメラ

